

令和6年度認定看護管理者セカンドレベルカリキュラム 熊本県看護協会 R6.2

【教育目的】 看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。				
【到達目標 到達目標】				
1. 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。				
2. 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。				
教科目	単元	教育内容	担当時間	時間
ヘルスケアシステム論Ⅱ (15時間)	社会保障制度の現状と課題	1・日本における社会保障 1-1 人口構造、疾病の変化 1-2 社会保障費の(財源)構造と推移	6	18
	保健医療福祉サービスの現状と課題	2・保健医療福祉サービスの提供内容の実際 病院、看護小規模多機能型居宅介護、訪問看護ステーション等	6	
	ヘルスケアサービスにおける多職種連携	3・多職種によるチームケア提供の実際と課題	6	
組織管理論Ⅱ (30時間)	組織マネジメントの実際	4・組織分析	12	30
		5・組織の変革 6・組織の意思決定	12	
	看護管理における倫理	7・看護管理における倫理的課題 8・看護管理における倫理的意思決定	6	
人材管理Ⅱ (45時間)	人事・労務管理	9・人員配置 10・勤務計画	6	48
		12・ストレスマネジメント 13・タイムマネジメント	6	
		11・ワークライフバランスの推進 14・労働災害とその対策 15・労務管理に関する今日的課題 16・ハラスメント予防策と対応	6	
	多職種チームのマネジメント	18・リーダーシップの実際 19・コンフリクトマネジメント	12	
		17・人的資源の活用 20・看護補助者の育成	18	
	人材を育てるマネジメント	21・キャリア開発支援 22・人材育成計画		
資源管理Ⅱ (15時間)	経営資源と管理の実際	23・医業収支 24・経営指標の活用 25・費用対効果	6	15
		26・適切な療養環境の整備		
	看護管理における情報管理	27・看護の評価・改善のための情報活用	9	
質管理Ⅱ (30時間)	看護サービスの質保証	28・クオリティマネジメント 医療・看護におけるクオリティマネジメント	12	30
			6	
	安全管理	29・安全管理の実際 30・安全管理教育 31・法令遵守	6	
		32・災害対策	6	
統合演習Ⅱ (45時間)	演習	33・自部署の組織分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する。	30	45
	実習	34・地域連携を理解するための他施設実習を行う。(実習施設は、原則として受講者自身の所属種別以外の施設とする)	15	
※特別枠	論理的思考と表現について	35・レポートの書き方		6

規定180時間

別枠6時間 + 186時間